学校番号	２１５

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	(学)情報演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・情報Ｉで学習したことをさらにより広く深く学んでいきます。情報技術を適切かつ効率的・創造的に活用し、問題の発見と解決に向けた力をしっかりと養いましょう。
・情報に関する科学的な見方や考え方を養い、情報社会に主体的に参画していけるよう、自ら進んで学習しましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
多様なコミュニケーションの実現、情報システムや多様なデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報技術の発展と社会の変化について理解を深めるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的、創造的に活用する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
情報と情報技術を適切に活用するとともに、新たな価値の創造を目指し、情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	多様なコミュニケーションを実現するためのコンテンツの作成と発信、多様なデータを活用するためのデータ処理、情報システムを構築するためのプログラミングなどについて理解し技能を身に付けるとともに、情報技術の発展と社会の変化について人の知的活動への影響も含めて理解していること。	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用した問題の発見・解決に向けて、試行錯誤と振り返り及び改善を通して、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養うとともに、将来の情報技術と情報社会の在り方について考察することを通して、情報と情報技術を創造的に活用する力を身に付けていること。	情報と情報技術を適切に活用することを通して、情報セキュリティを確保しようとする態度や情報モラルを養うとともに、身に付けた知識を深化・総合化し、思考力、判断力、表現力等の向上を通じて新たな価値の創造を目指す態度、情報社会に主体的に参画するだけでなく、その発展に寄与する態度を身に付けていること。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	情報社会	・情報Ⅰで学んだことの復習と応用 ・IoT やロボットがもたらすメリットとデメリットを考える。 ・コミュニケーションの多様化から社会に役立つ使い方を考える。 ・人工知能が人間と共存する社会の光と影について考える。	a:情報社会の変化について理解している。 b:情報技術が進展することによる期待される変化について説明することができる。 c: 情報技術が進展することにより生じる問題を解決しようとしている。	小テスト 課題	小テスト 演習	授業観察 課題
	データサイエンス	・データから新たな価値を見出す方法を考える。 ・表計算ソフトウェアを使ってデータの整理と値の処理を行う。 ・データを分析してグラフ化し、情報を可視化する。 ・表計算ソフトウェアを使った分析の方法について学ぶ。	a: 量的データと質的データの概念を理解している。 b: エビデンスに基づく意思決定と価値創造について具体例を示しながら説明できる。 c: 実社会の実問題に対するデータサイエンス技術の応用に興味・関心を示している。	小テスト 課題	小テスト 演習	授業観察 課題
2	プログラミング	・プログラミング言語の種類について学ぶ。 ・プログラム作成上のルールや役割について学ぶ。 ・実習を通してプログラミングを学ぶ。	a: プログラムの制御構造や関数の流れ，プログラム実行時の変数の変化を理解している。 b: 簡単な構造のアルゴリズムを考えてプログラムを作成することができる。 c: 必要に応じてプロパティも活用しながらプログラムを修正し，問題解決に適したコンテンツを作成しようとしている。	小テスト 課題	小テスト 演習	授業観察 課題

	情報システム	・既存の情報システムを組み合わせて、より便利な社会を考える。 ・情報システムの分類と役割について学び、それらがどのようにして社会に関わっているのかを調べる。 ・システム開発のプロセスについて学ぶ。 ・Web システムの仕組みについて学び、制作する。	a: 集中処理システムや分散処理システムについて理解している。 b: システムの構造や処理の流れを図示する過程において，適切に思考し判断できる。 c: 情報システムの開発プロセスに興味・関心を示し，意欲的に取り組んでいる。	小テスト 課題	小テスト 演習	授業観察 課題
3	プロジェクト	・現実社会で起こっている様々な事例を調査するとともに、地域別統計データ等を用いて回帰分析の手法を学び，問題点について考察する。	a: Python を用いたデータの記述統計量の計算やデータの可視化の実装方法について理解している。 b: データの特徴に応じて回帰モデル（単回帰や多項式回帰など）を適切に選択できる。 c: さまざまな統計データを調査し，読み込んだデータを観察・分析することに興味・関心を示している。	小テスト 課題	小テスト 演習	授業観察 課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度